

平成30年度 第2回学校評議員会記録（HP用）

日時：平成31年1月17日（木）

10：30～12：00

場所：本校第1会議室

- 1 平成30年度の学校運営について（重点事項、進路状況、支援状況）  
パワーポイントで説明
- 2 平成30年度学校評価結果について  
学校ホームページ「学校評価集計」を参照
- 3 評議員からのご提言
  - A評議員：
    - ・学校評価結果の公表の際に、分析結果にその要因も加えて公表するとわかりやすい。
  - B評議員：
    - ・学校評価は肯定的評価の割合が高いようだが、どうすれば肯定的評価が100%になるかを検討し、より良い支援につながってほしいと思う。
  - C評議員：
    - ・学校評価の低い部分の分析が必要である。具体的な聞き方など質問の仕方を工夫して、課題が見えてくるようだと良い。「交流及び共同学習」などの経験は社会に出た時に大切になる。生徒が社会に出たとき、自分の思いや依頼することなど伝える力が必要である。自分から発信する経験をさせていただきたい。
    - ・2020年のパラリンピック（東京）には聴覚障がい者の種目は含まれていないが、2025年にデフリンピックを日本に招致しようという動きがあることを情報提供したい。実現すれば5年後に参加できるという希望を生徒たちに与えることができる。
  - D評議員：
    - ・近隣の学校との交流も良いが、他の聴覚支援学校との交流があっても良いのではないかと。東京では台湾や大阪の学校と交流している聴覚支援学校もあると聞いている。東北地区の学校同士でも良いので検討してみてもどうか。
- 6 学校長より

学校評価は、結果をどう分析するかが大切である。高等部生徒の「学校は楽しいか」という項目の評価の低さは、社会に出てからの不安の大きさもあると想像できる。社会に出て行くために何が必要か、考えていく必要がある。

日頃の意見を大切に学校運営をしていきたい。ホームページ等を見て、いつでもご意見をいただきたい。
- 7 閉会

<学校評議員会の様子>

